夕刊
磐城新聞
四月二十七日發行
（日曜祭日翌日休刊）

台灣から　二

青木淳

そのうち止んだと思ふ間なく二回目の餘震、私も生きた心持ちがなかつた

『こんな遠い臺北で、地震で死んでしまつてはつまらない』等と聊かセンチになつたがそのうち止んだ

やれやれと思つて、基隆の知人の家を訪問しようと臺北驛に來てみると『臺中の切符は賣られぬ』とかといふ言葉を不審に思ひ乍ら基隆に行つてみると、震災で中部地方は全滅だ、といふのをきいて吃驚した

しかし、昨日一日早くかへつた事を中心からよろこんだ。若し、その次の日で發てば恐らく私も震災にあつて、蓬萊の島の土となつてゐたらうと考へると、あの汽車からみた火柱からおこした豫感が適中した事に今更に驚いた

二十二日、この私の乘つてゐる高千穗丸の出帆の朝京都の中學に入學するといふ生徒が漸やくたどりついた。全く血みどろの有様、この生徒の話をきくと

『臺中州の清水街は半以上倒壞，三百餘名死亡，そこから汽車不通、大甲街までバス連絡、大甲街は處々倒壞、死人も相當あるとの事途中地面が割れてゐる個所多く物すごい、一番ひどかつたのは豐原街で全滅であつたとの事』

とに角、臺灣始まつての大震災であつた

今までの報告によると死者三千名以上とか、兎角、地震といふのは何時どこで發生するかわからぬものとしみじみ恐ろしくなつて來た。中部から一日早く出發したばかりに辛くも命全うした譯である

一体臺灣の家は煉瓦造りが主であるから、地震となると一番危險である。早晩建築法も變更になるものと考へる

今回、震災地は臺灣の中部で、新竹州臺中州である未だ山線（臺灣縱貫線は海岸と山線と二本あり、彰化で合するもの）地方の慘害の程度はわからないとの事廣東人の多く棲む、新竹州の銅鑼方面が可成ひどいとの事で、その南部一帶慘害最も甚だしい事と考へらる

痛ましい罹災者に對し心からなる敬意を表し靜かなる航海を續けてゐる（四月廿四日高千穗丸にて）

五月題詠として　五月五日締切
『摘草』『宵』『春雜詠』
（歌數隨意）

隨筆　ヒゲについて一言

一史寒士

六

斯ういふ品物に對してマルクスは特殊價値と銘打つたが、成程これは其の占有し占有せんとする人々によつてその價値はちがう譯である。然し何れにしてもその歸する處は先人に對する崇敬の念である

私は昨年の八月から髭をたてた。處がその成績は我乍ら定に見るべき好調を以て伸び育つた。ヒゲに興趣を有つ人は廿七才の弱年にして其成績の絕倫なのに諧賞を吝まぬ人もあるにはあつたが、これらは別段ヒゲに對して智識も信條もなしに唯漠然とヒゲの毛色や密度や長さだけを尺度したに過ぎなかつた

ヒゲを切れ……切らぬと鋏で挾み剪るぞ！と花鋏を擬し、この朗らかな忠告は先づ日東電氣のオヤジから始められた。其後此種の諫言に接したことは筆舌に盡し得ない。偶々釜屋の孟長久太郎氏や關内氏や多數芳型の席に侍つて酒盞の機會があつた。其處に忽然として現はれたのが頑固おやぢの小田吉治さんだ。醉興が昂ずるや鋏論風發してゐたが、今度は自分の髭が問題の中心となり、小田さんの第一矢に力を得た面々が醉に乘じての指平紀彈である最後に小田さんが鋏を持出して、切る斬ると攻めかゝつて來たし、此の場に於てヒゲ愚考を敍べた處が相手は酒氣滿々たるものだから聞く耳は持たない。然し切らぬとすればそれ相應に抗辯しなければならぬ破目だし、揄辯すれば座は納らないといふ全く雰圍氣は自分にとつて最惡であつた。自分はなまじ切られて汚辱を殘さんより自ら刀を持つて切腹する方が男らしいとすれば、自ら切るに如かずと一瞬の決意克く之を切り捨てた。それは丁度自殺者が飛び込まんとする間髮の決意に等しいと思はれるような稍々興憤も手助つてゐたと思ふ

潮聲硯靜抄帳

春の月　中島晴湯

春月や風をさまりて虫柱
水仙の葉のかろし雪名殘
日毎消ゆる遠嶺の雪を惜みけり

春の雪　淸水蕭村

瀨に沿ふて鴫飛びゆくや春の雪
星川の春雨ふかし石叩
苗代の水ほしてある大氣かな

森里句鈔

伊達森里

父の一週忌
虫賣りの虫鳴かせつゝ通りけり
虫の聲きゝつゝキャンプ更けにけり
鐵索の往來の谿間鳥渡る
鍬おいて空を仰ぐや鳥渡る
刈り終へて廣き田圃や島渡る

滿洲皇帝東游

珠雲　小野務平

浮舟來訪大瀛東
兩帝披襟氣自融
天下蒼生咸仰望
菊馨蘭馥一堂中

その日〳〵

4月28日　△名工左甚五郎歿す（寛永一一）△華族世襲財産法公布（明治一九）△樞密院新設（同二一）

4月29日　△足利尊氏卒す（延元三）△東京で勤勞國民黨結成大會（昭和九）

4月30日　△奧州高館の合戰義經等死か（文治五）△米の排日法案議會通過（大正二）△ペルー大統領セロ大佐暗殺せらる（昭和八）

○

『落花の道に踏みまよふ』櫻狩りも夢のまに過ぎてしまつて、二日つゞきの休みには早や惜春の行樂だ。

小説　誰が殺したか　(4)

國枝史郎作　龍造寺膽齋

第一の殺人（四）

『ホールの事が何か新聞に出てゐますかね』

定吉は支配人と蝶子の話をするのが厭だつたので話をそらした

近頃舞踊場の風紀がかなり紊れてゐて、いろ／＼な噂が立つてゐた

昨夜、このダンサーが三人、このことで警察に擧げられたのだつた

『それについて實は呼び出されちやつたんだ』

支配人はぶつ／＼小言のやうなものを云つてから

『綺麗に拭いてくれ、支配人の靴に埃がついてゐたなんての は酒落にもならんからね』

支配人平泉は、定吉よりも二つ三つ上で、まだやつと三十そこ〳〵の青年だつた。もとはダンス教師上りでその前は街の與太者上りだつた

平泉は支配人らしく身裝を磨けば磨くほど下卑てみえた。彼は有名な女蕩しであつた

ホールの風紀だつて、その大半は彼自らが紊してゐるのだつた。彼の毒牙にかゝつたダンサーは一人や二人ではなかつた

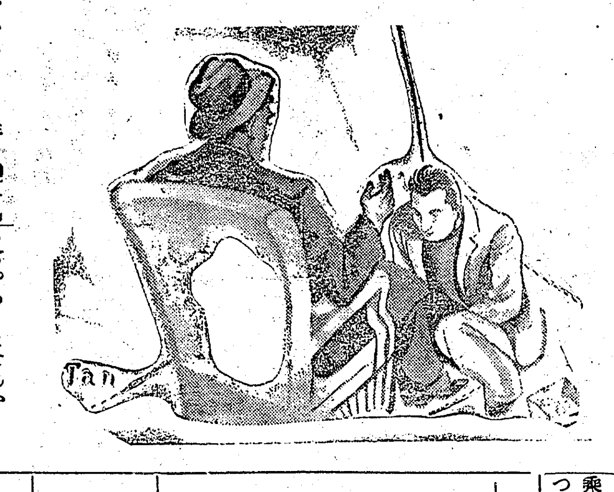
しかも尙、彼はいま蝶子を狙つて、ぢりぢりと甘言を以つて肉迫してゐた

蝶子だけは、彼の經驗した今までのダンサー達と違つて手易くは彼の手には乘らなかつた

彼はそれをもどかしがつて、いろ／＼と手を變へ品を變へて口說き落しにかゝつてゐた

『こいつ！』

と思ふと、定吉は靴の上から、金槌でガンと足を毆りつけてやりたかつた



『定公、オーバーはね、もう三日待つてくれよ』

『ね？』

と云つたから定吉はふと思ひ出した

この間中から支配人が今着てゐるオーバーを定吉に呉れる約束をしてゐたのだつた

定吉は、それも口だけだらうと思つてゐたし、貰ふことを當てにもしてゐなかつた

拂下げる程汚れたオーバーでもなかつたし、定吉には上等過ぎてむしろ不調和過ぎた

『四五日中に新調の方が出來上つてくるさうだからね出來て來たら、これは君に進呈するせ』

『だつて旦那、また着られるぢやありませんか』

『二つ持つてゐたつて仕樣がないぢやないか。君は持つてゐないから上げるといふのさ』

『だつて、私等には品が上等過ぎて却つて變に思はれやしませんか』

『變とは？』

『據つ拂ひかなんかと！』

實はこの支配人からそんな物を貰ふ筋がなかつたのだ。つひこの間までは定吉には眼もくれない彼だつた

これも遠廻しに蝶子に彼への好意を持たせる一つの手であることはみへすいてゐた

『君は弟を中學校へ上げてるんだつてね、蝶子さんの弟と同級だつてぢやないか感心だよ。それで僕は君に惚れ込んだわけさ。ま遠慮しないで今度このオーバーを着給へ』

『へえ、ありがたう』

腹の中では赤い舌を出して貰つたつて、その手には乘るものか、と定吉はけろつとしてゐた

廣告

…試驗機完備…
發電機
マグネットチアージ
蓄電池
コイル
モーター
一般電機捲替並修理
久野電氣工業所
平町紺屋町五三（呼電）三六六番

天下一品マヅイ
素人料理 おでん
榮ちゃん
花ノ里 新田町

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山市外大槻村針生
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
郡山腦病院
電話九二五番
院長醫學士 金森五郎
入院隨時

磐城共濟病院（福島縣平町 電話六四一番）
內科・小兒科　院長醫學博士 石山謙郎（電話六四一番）
產科・婦人科　副院長醫學博士 五十嵐雄二（電話三七〇番）
外科・耳鼻咽喉科　部長醫學士 大町久藏
皮膚泌尿器病科・花柳病科　部長醫學士 前澤正（電話二七二番）
X光線科　醫學博士 石山謙郎
物療科　技手 石山彥
衛生試驗所　獸醫 高後利雄
藥局　藥局長 吉本孝平
藥劑師
事務長 鈴木寶雄
◎毎日午前八時ヨリ
◎夜間診療開始（毎夜午後十時迄）
◎病室完備 入院隨意

二十四日より博覽會の最終的奉仕
…市民デー…
博覽會ご演藝館共通十錢
博覽會は諸費用を省き之を以て閉會式に替へます、演藝館は斬新なる大魔術を加へて御覧に入れます。

內科
川井內科診療所
平南町（電二四三）
川井安子

高久病院
平町田町（電話五三一番）
內科 醫學士 高久忠
外科 新潟醫學士 赤羽淸
小兒科 藥劑士 佐竹[illegible]雄
花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

耳鼻科 咽喉科 專門
大和田醫院
平町南町一六番地
電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

石城酒造組合主催 唎酒會
（優等入選）
白馬の雪
辰の口本店 平窪村（電話平二八五番）
販賣店 平町三丁目（電西六番）

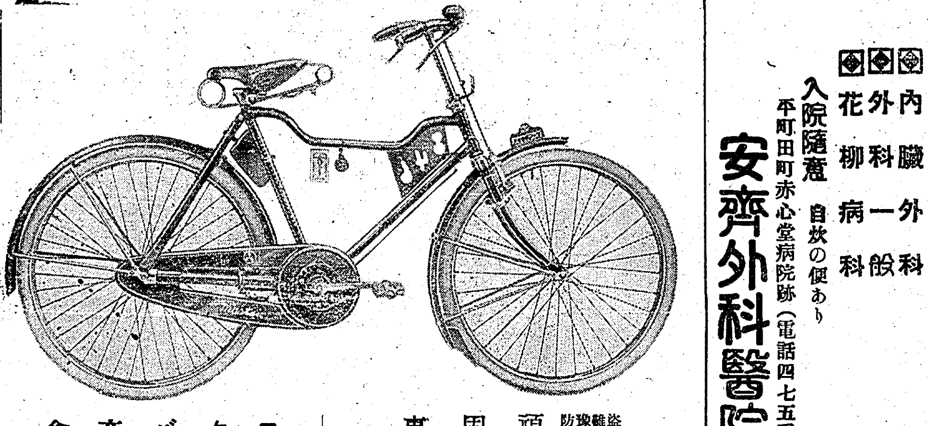
耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前

鈴木醫院
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂 磐炭病院前
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）

石炭 一〇〇%サーヴヰス
暖氣ニ向ヒダンゼン値下げ
一等塊 正味五十斤入一俵 金貳拾八錢
特塊 同 同 金參拾五錢
品質が優良 目方が正確 デナケレバ 値段バカリ安クトモ結局高イモノニナリマス
此の點は當店を絕對に御信用願ひます。
市內ハ一俵ヨリ迅速ニ配達致シマス。
電話三七番
石炭 コークス 豆炭
阿部石炭商店

外科專門
X光線科
上田醫院
平南町
入院隨意（自炊の便あり）
病室完備
（電話一一九）

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
安齊外科醫院
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）



盜難豫防 運搬兼用 頑固車
正價 三十八圓五十錢
フタバ商會
平・新川町・橋際

目に青葉
山ほとゝぎす初松魚
季は躍動の新天地へ
松ケ岡公園の眺め色々

ベンチに居眠りし乍ら孫の守りをする老婆が一人と、向ふ側には地べたに足を投げ出してスケッチに餘念の無い白線新しい中學生と、人けと云つたらそんなもので、岸の菖蒲が勢ひ良く伸びて居る池の噴水の音のみが際立つて聞へる位、花の終つた昨今の公園は森閑として居る。花の濃艶から葉櫻の鮮新に變らせる枝頭の嫩葉は未だホンの赤い芽を吹いた丈けであるが近頃滅切り急轉回を見せた初夏氣分に潑溂の氣分を躍らす青葉若葉の眺めが銷曳く人を吸收するも近い事であらう。無粹な町役場當局迄が『赤紫紅白八重一重』とばかり、久しい間胴忘れしてた樣なブロークンな七五調か何かで天下に呼號しつつある所謂三百餘種三千餘株の躑躅が、いみじき漏斗狀の五裂瓣から地上あらゆる色彩の總進軍を見する時、勿論櫻の時には遠く及ばぬにせよ、一としきり花どきの賑ひに還元されて闇に連る艶な雪洞提灯は再たも夜毎松ケ岡を飾る事であらう。眞晝の靜寂を破つて水音高く飛ぶ緋鯉眞鯉の跳躍に、瀲波漂ふ瓢箪池の岸邊には鮮新目さまむろ紫のあやめ杜若も咲かうし、旋て春木亭の藤棚には目も絢なる自然のエウ珞が楚々として無數の紫房を垂れる事であらう、趣多い松ケ岡の初夏は明日曜頃から人々の前に忍び寄つて來る

縣消防組頭大會で
水火の勇者を表彰
郡下にも該當多數

今二十七日から三日間郡山市に開かれる縣下消防組頭大會に際し協會長島田警察部長から表彰される無火災消防組及び優良組員中本郡關係左の如し

（無火災消防組）△湯本組
△渡邊組
（精勤章）△神谷組頭宇佐美直保△內郷小頭野木力△飯野小頭阿部續△江名小頭白土國治△渡邊組頭高木善枝△入遠野組頭櫛田武美△泉小頭佐藤清治△四倉小頭長谷川義久

種播き終る
挿秧は六月中旬頃

郡內に於ける水稻播種は縣の早期獎勵に基き一二ケ村を殘して殆ど終了したが田植は早くて來る六月十日頃より約十日間位に亘り行はれるものと觀られてゐる

滿蒙事情映畫講演

大日本國防婦人會平町分會主催の滿蒙事情紹介映畫と講演會は同國防研究會、青年團、經濟聯盟支部、在軍分會後援の下に明二十八日午後六時半より聚樂館に開催、滿鐵顧問澤田壯吉氏の講演後滿鐵本社後援の左記映畫四本を上映すると

滿洲國の全貌、娘々祭、守れ王道、國境の唄

伜を喰ひ物にされ
驚いた父親が告訴
依然たる惡桂庵の跳梁

東京市向島區吾嬬町西四丁目周旋業佐藤直治（三五）は平町胡摩澤一二〇古物商小會納夏吉（四五）が妻と死別後亡妻の母なる同町六丁目新妻ナツ方に預け置いてゐた長男菊之丞（一六）をナツの文旨を奇貨として去る二月二十日夏吉の承諾なくして埼玉縣埼玉郡潮留村農朝日增太郎方に六ケ年契約で住み込ませ手數料等を捲き上げたので夏吉から昨二十七日平署に告訴された

疲弊の惡水豫防組合員に
廢川敷地交付願
けふ藏相に申請書提出

平町外二ケ村より成る惡水豫防組合は去る大正元年設立、昨年一月古川並に新川兩川が縣支辨川になる其間二十六萬五千餘圓の巨費を投じ水害豫防の改修をなしたので組合員は一段步當り四十一圓を負擔、これがため困憊甚しいので同組合では兩川屈曲除去改修による廢川敷地たる（古川關係）一町九畝二十五步（新川關係）九段五畝二十五步 合計二町五畝二十步の無償交付を受けた上該廢川地をこれら困惑組合員に分割交付せしむる事になり今二十七日高橋藏相宛これが無償交付方の申請書を提出した

朽廢の鮫川橋を
縣下一に改善
明年度事業の筆頭に計上

平土木監督所管內に於ける十一年度橋梁改修工事個所は入絹會社の創設によつて一層改修の急務を叫ばれてゐる鮫川橋を筆頭に合計十二橋（此の工費三十六萬圓）を申請する事になつたが、鮫川橋は前記の關係から同所に於ても一層力瘤を入れ地元と共にこれが實現に猛運動を起す筈であるがこれが設計は大体總工費三十萬圓を投じ幅員七米、延長四百米の鐵筋コンクリート橋にするもので現在縣下一を誇る信夫橋（工費二十七萬圓）を凌駕するモダン橋に化せしめる方針であると

一般民衆のために
尖端的冷藏庫
平製氷の新營業科目　提供

平製氷株式會社では昨年來各種沖魚の販賣により地方各濱の不漁時に於ける需給關係の緩和及超季節の魚貝提供等極めて良好の成績を擧げて來たが今回更に一般の爲魚貝、雞卵、野菜、獸肉其他の冷藏保管等を開始する事となり、現在倉庫南側に工費豫算一萬二千圓を投じ十五坪の冷藏室を建設すべく此程地鎭祭を擧げ直に起工來月中完成の上六月一日より取扱ひを開始すると云ふが右は前記の外保存上寒冷を必要とする毛皮及絹織物等高級の衣類保管をも取受くる筈で地方最初の試みであると

精神作興見學旅行

平青年團幹部約二十名は自動車三台に分乘左記豫定により來月六、七の兩日東京を中心に精神作興見學旅行をなすと

二重橋前―明治神宮―多摩御陵―高尾山―中島飛行機製作所―立川飛行場―東京日日社―花王石鹸工場―軍人會館（一泊）―江之島―横須賀―東京―平

醫學集談會

平町磐城共濟病院醫學集談會第十一回例會は明廿八日午後六時半より同院醫局に於て開催するが當日の演題は左の通りである

一、「カンフォラー」と製品　本院藥局長　吉本孝平
一、スポーツに依る舟狀骨々折の二例と外踝骨に就て　大河內整形外科院長醫學士　大河內一郎
一、輸卵管避妊手術の現況と術式批判　本院產婦人科醫學博士　五十嵐雄二
一、虫樣突起炎と子宮外姙娠（抄讀）

大祭と豫防デーを記念

今二十七日の靖國神社臨時大祭並は結核豫防デーに當り平町各學校はて朝會の際訓話を催し國旗揭揚式を行つた

投稿　投書歡迎

花の新川照明論

◇日露戰捷を記念し植樹され樹齡三十を數ふる新川端の櫻は最近では改修工事の爲枯損してゐるのも少くない、長橋から月見橋に至る迄川を挾んでの美觀は依然として大した變りは無いが、僕は先日夜公園に夜櫻を見た歸途、此處を通つてウンザリしてしまつた

◇長橋から數町の月見町に至る迄弧燈の一つ、雪洞の一つ、雪洞の一つもなく、剩へ南側の土堤側には喃々の醜惡な場面を見せてゐるのにあきれてしまつた公園ばかり己愛娘然とさせ此方を顧みぬ樣な片手落はしない方がいゝと思ふ

◇振返つて見る藥王寺の岡は彩色の電燈もつきピカ〳〵の情景だが此方は花の雲が僅かに闇中に朧に浮いてゐるに過ぎない有樣、又此れを幸ひ喃語を交はす先生方にも感心?させられる

◇澤山も要らぬが電燈を割合して此方にも廻はして貰ひたいものだ、何年か前までは雪洞や照り返しなど澤山點けたんだが

（新川讃美生）

南町產看校
好成績を擧げた
合格者多數を出す

此程執行された本縣產婆試驗の合格者は受驗總數三百七十餘名中僅か一割五分强の五十六名で可なりの受驗難であつたがその內平町南町平產看校出身は全合格の約五分の一を占むる左記十名であり、縣外に於ても左の合格者を出し非常に好成績であつた

阿久津トシ　芳賀マサイ
鹽原トキ　大津ミヤヱ
菅野アキ　木田イクヨ
海老根ナミ　渡邊キヨ子
廣木ミイ　園部アイ子

（宮城縣志願者五名全部合格）島場宮子　大友ヤヱ　芳賀マサヱ　白井イト　菅野アキ
（茨城縣出願三名中二名合格）丹つね　宮本トミ

流石は浮かれ時
五色町に花景氣
半減の各樓繁昌

凋落に瀕する鎌田遊廓乍ら花見景氣の響きは大きかつた、過般の大火で娼妓數は九名減の二十名だが、軒數は豆樓、榮樓、住吉樓の僅か三軒に半減されたので一軒當りの收入は以前よりも却つて多く、平常は數名と云ふ情ない日もあつたのにこの期間中は一日一軒二十名を超えた日もあつた程で客は大概炭鑛方面が多かつたと

郷土の史的時事解說（二）
白水阿彌陀堂の第二回修理
本堂宇の特別保護建造物並に內塡安置五佛像國寶各指定に就て（三）

勿來生

殊に太平記は平が此の時に於ける侍大將を數名擧げるが悉く本名を略してをるなどにも一考するところがあり、而已ならず高久は岩城氏本祖の在名で、卽ち岩城郡高久村に治居せる、謂はゞ流布岩城系圖上の則道、又は國魂系圖の忠衡の正流裔孫が當時現在し、早くして父子共に歸順して官軍に屬し、其の顯家の將廣橋經泰に從つて、建武三年末より興國四年十一月、關、大寶城陷落頃まで忠節し、孤り海道に在つて親族の岩城全族、及至岡本、佐竹、千葉、伊賀、相馬、石川賊黨ゝ對峙奮戰せしは明かである。但だ此の原由「高久」に就いて、岡本文書康永三年七月四日散位狀に「岩崎彥三郞ゝ俊」同く貞和二年正月日、岡本亦親言上狀に「同末子兵庫亮隆宗」同く文和三年十月十日、周防守隆泰披露狀に「岩崎高久新左衞門尉」長福寺文書年欠三月廿五日本人書狀に「隆俊」などあるが、其の各自に『岩崎高久』と呼ぶのは少しく不可解である。按ふに之は岡本文書に考へて、彼れの所領は岩崎郡御厩村にあつたから、以前は其の地頭であり、又自分の館をも之に置いて住居したる爲、詰り今は岩崎郡の高久と汎唱したに過ぎぬと想ふ。飯野文書に屢見せる「岩崎村上」（前出）も之と同意であらう。固より岩崎郡內に高久てふ村名字名が無かつたらしく、現今尙は斯かる古地名が見當らぬ。故に此の高久族は、或は先祖が岩城郡の高久族から既に此に來て城づき、一方の村上だけ隆久を名とする以上、土著の者で村上てふ村里があつたと思うてよからう。御厩に今、久世原館と俗傳する古址があり、或は隆俊の居城か。要するに、舊岩崎郡には、今其の地名を失してゐるが或は假りに內郷村大字高坂でなかつたかと想像される

同僚泣かせの
圖太い職人
竟に告訴さる

平町田町洋服職人武石盛嗣（二六）は去月十三日夜半同僚佐川武志さんの下宿先に忍び込みトランクにあつた現金十四圓五十錢を盜み取つた外同人の衣類數點を橫領し平署に擧げられたが其後武志さんと話が纒り

――小生の盜みは一時の出來心に候間衣類の外現金は四月十五日迄間違ひなく辨償致すべく候

との一札を入れ乍ら今以て言を左右にし更に返さぬので今は之迄と平署に詐欺の告訴をした

六十枚の河原に
謎の怪死体現る
檢視の結果刮目さる

草野村六十枚橋附近夏井川河原砂中に男女とも分明せぬ死体の片足が露れてゐるを今朝發見、平署より檢視に急行したが死因も分らず成行きを注目されてゐる

自殺說有力
旅の者らしい
五十位の老婆

前記謎の死体に關し平署から直に渡部司法主任を初め刑事一行が現場に急行取調べた結果、推定年令五十才位の老婆で旅の者らしく死体は一應村役場引渡した死人は半ば破れた袷を着てゐるが腐爛して膨れ上り上齒に二枚、下齒に一枚の金齒を入れ、病人らしい處から自殺說が有力であると

歸らぬ夫に
離婚を請求

北海道十勝國中川郡本別町三五居住双葉郡浪江町大字樋渡字前田八生れ江畑タミ（四三）は此程平町門傳辯護士を代理人として行衞不明の夫江畑幸吉（五二）に離婚請求の訴を平支部に提起した

タミは大正四年二月章吉を婿養子として一男一女を擧げたが章吉は同十四年七月家出後音信なく幼兒を抱ね一家を保持してゐたが昭和三年九月北海道空知郡萬字市街地の實妹に幼兒を託し自分は札幌なる帝大附屬病院の看護婦となり本年一月から現住所に於て家政婦を始め漸く一家三名生活に困ることなきに至つたが待つてゐた夫は最近米國に在り自分の許に歸る意志ないとの噂があるので此の訴へに及んだものであると

。。。江名町會　此程開き上水道工事費として五萬圓借入並に實業公民學校建築に關し協議した

。。。賭博　江名町中ノ作漁夫小林林一郎（四二）同漁船油差阿部松平（三四）同川島駒太郎（三二）同漁船機關手鈴木市左衞門（三五）の四名は去る二十二日小林方で花札博奕を開張、此程平區より略式で林一郎は罰金三十圓、他の三名は各二十圓に處された

。。。チフテリア　平町磐炭發電所大平正直（四）は二十七日チフテリアと決定

埃の卷

昨二十六日は大正十三年以來の馬鹿陽氣、平温を九度程突破して廿七度八分（華氏八二、〇二）生きとし生きるものは大抵冬眠から醒めざるを得ないわけで、平町三丁目の某家では椽の下から四米もある靑大將に出て來られたので吃驚したが何時入り込んだとも知れぬが鼠でも喰つて長い間此處に陣取つてゐたものらしい人の氣に心行く迄日向ぼつこして陽が翳る頃再び椽下に潛ぐり込んで行つた

二十八日（小名濱測候所調査）

日出	四、五〇	月出前	一、四一
日沒	六、二〇	月沒後	一、〇九
滿潮前	一〇、三五	干潮前	六、四〇
滿潮後	一一、五〇	干潮後	七、五〇

二十九日

日出	四、四九	月出前	二、一三
日沒	六、二二	月沒後	二、一九
滿潮前	一一、一〇	干潮前	七、三五
滿潮後	一一、一五	干潮後	八、〇〇

三十日

日出	四、四八	月出前	二、四三
日沒	六、二二	月沒後	三、二九
滿潮前	一、四〇	干潮前	八、二五
滿潮後	二、二〇	干潮後	八、五〇

諸判定總鑑　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

舊三月二十六日　日曜　甲戌　佛滅　破　星宿　新四月二十八日

▲一白　一意專心に定業を守り辛抱するが第一なり▲二黑　競爭的に出るは失敗の基飲食も注意すべし▲三碧　健實にたゆみなく働くときは新氣運に向ふ日▲四綠　事半ばにして緩みを生じ易し目上に問べし▲五黃　正しと思ひし事も識者に問ひて後行ふべし▲六白　木の實が芽を出し追々と伸びる如き良運日▲七赤　口を愼しみ人の氣を損ぜぬ樣にすれば吉し▲八白　遠しと思ひし目的地も間近くなりつゝあり▲九紫　盛運の日なれども本分を忘るれば失敗あり

舊三月二十七日　月曜　乙亥　大安　危　張宿　新四月二十九日

▲一白　油斷せず周圍の事情を考へ進めば大發展す▲二黑　十分と思ひし事にも齟齬の生ず失物注意▲三碧　向ふ見ずに進む氣の生ずる日蹉跌する勿れ▲四綠　邪魔物を除けて頂上に達せらるべし▲五黃　圓滿平和を目標とすれば德望は一身に集る▲六白　午前の滯りは午後に至りて自ら通達すべし▲七赤　傾きかけし運氣も次第に立直り行くべき日▲八白　大波も乘り切つてきやう樂の天國に入るべき日▲九紫　進出せんとすれば却て擊退せらる守るが勝

舊三月二十八日　火曜　丙子　赤口　成　翼宿　新四月三十日

▲一白　一旦下りたる運氣も引立を受け向上すべし▲二黑　跡から跡からと福の舞ひ込む日開店尤も吉▲三碧　自重せざれば凶事に見舞れて苦む事あり▲四綠　依賴心を去り自力を本位として精勵すべし▲五黃　吉日なれども目上の者を用ふれば一層の吉▲六白　積日苦心の功果現るゝ日但し和合大切の事▲七赤　人言を輕んじ長上を蔑する時は破滅を來す▲八白　虛より實に進み來る飽くまで奮闘すべき日▲九紫　內に在れば無事なれども外に出ては不利多し

前田醫院
院長　前田清美
植田町電話一二四

廣告

流線型入車
御待ち兼ねの卅五年式流線型第一車が入車致しました。是非御試乘をお願ひ致します。
電話六四〇番
尼子タクシー

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、繼續架工科　齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野悳次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ヒ）電話五〇九番

貸切の御用命は是非〳〵
電話二一七番へ
親切叮嚀、流線形
安全第一、最優良車設備
サーヴィスモットー
貨物一般
平町四丁目
鈴木自動車部